

広島平和記念式典に 参加して

8月6日(木)に広島市で開催された広島市原爆死没者慰霊式・平和祈念式に、市内の中学校から募集した「平和の作文」で最優秀・特選を受賞した中学生6人が参加しました。

平和記念公園の慰霊碑や原爆ドームなどを見学し、語り部の原氏から被爆体験を聞きました。悲惨な体験を直接聞き、現地でしか感じるることのできない生々しい雰囲気を目の当たりにし、平和の尊さについて改めて考える貴重な体験となったようです。

参加生徒の感想文

■川崎 美佳さん(西中)

広島から学んだ平和の尊さ

「平和」。どうすればこのような素晴らしい世界が訪れるのか、今回深く考えさせられました。

今年で70年目を迎える平和記念式典では、私が思う以上の核兵器がもたらした地獄を感じた70年前の人々が語る話

は悲しみと恐怖で溢れており、皆さんはとても悲しい表情をしておられました。

また、「平和の実現に向けて全力を尽くす。」という広島市議長のお言葉に、私達の世代も日本だけでなく世界にも平

和を実現する責任があるという思いが伝わりました。

平和記念式典に参加した一人として、広島に集った方々一人一人の平和への思いを伝える義務が私達にもあると感じました。





当時の様子を語る原氏

河野 日菜子さん(幸手中) 平和記念式典に参列して

平和記念式典に参列して、

私はまず、本当の平和とは何かを考え直すことができました。現在、この日本に戦争が無い事は確かですが、常に戦争となり合わせになっているということは、この式典を通してよく理解することができました。戦争は、決して再発してはいけない、犠牲になった方々の死を決して無駄にしていけない、ということとを忘れてはならないと思います。

松崎 史花さん(幸手中) 平和記念式典に参列して

私は今回初めて、平和記念

式典に参加しました。

そして、改めて平和の大切さを考えることができました

た。今から七十年前に落とされたたった一つの原爆によって何万人もの人が被害にあいました。それは、とても辛く悲しいことです。忘れたと思う人もいるでしょう。

しかし、だからこそ、悲劇を繰り返さないためにも、私達が次の世代へと伝えていかなくてはならないのです。

秋葉 南さん(東中) 平和記念式典に参加して

もう二度と戦争の起こらない、平和な世界になつてほしい。今日の式典に参加して、

この思いは一層深いものとなりました。

平和宣言やこども代表の誓い、飛び立った鳩やたくさんの折り鶴。さまざまな形の平和への思いに強く胸を打たれました。

今日感じたことを忘れずに、平和のために自分にできることを一つずつ重ねていきたいです。

鈴木 美帆さん(東中) 平和記念式典に参加して

今回、平和記念式典に参加

させていただき、たくさんのかことを知り、感じ、考えることができました。

黙とうをしているとき、七十年前を想像すると、心がしめつけられるような感じがしました。

また、平和の鐘が空高く鳴り響き、戦争で亡くなった方々へその音と一緒に、日本

が今平和だということが届いたと思います。このような貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございます。

西中学校参加者 平和記念式典に参加して

私は、平和の尊さを改めて

感じました。今年は、戦後七十年という記念の年です。

しかし、今もなお、世界には一万六千もの核兵器があると知り、胸がしめつけられるような思いでした。

私達が、今できる事は、一人一人が平和について、考えること。そして、今回被爆者の方に聞いた、戦争のお話を、もう戦争をしてはならないという、熱い思いを、次の世代



へ伝える事なんだと思いました。

平和のための写真展

8月3日(月)～14日(金)市役所本庁舎1階ロビーで、平和のための写真展を開催しました。



この写真展では、戦中～戦後や現在も各地で発生している戦争の写真を展示し、市民のみなさんに平和の大切さや尊さを訴えかけました。

今年は戦後70年目の節目の年でもあり、たくさんの方が足を止めて展示に見入っていました。

問合せ 人権推進課 ☎(43) 1

111 内線162・FAX(44)

0257